

# 紅葉の「下の廊下」へ行く

秋山情報 8号 10/28

10/28 いよいよ目標の黒部ダムから樺平まで、1日で踏破する計画を実行した。

「ロッジくるよん」は大変ゆったりできた。・・・広い部屋に個室・・・客は3人、他に工事関係者が6人。

お風呂もゆったり、疲れを吹き飛ばすには最高の条件だった。

黒部ダムから樺平を1日で行くには、アクセス上、ここに泊まった方がベストであろう。

早朝は、4時半出発、黒部湖畔は狭いが舗装され、懐中電灯でも安全にダム直下まで行くことができた。

・・・下の廊下が完全に整備される頃は、日の出が少し遅いので、やや暗いが早朝出発するしかない。

しかし、蔵之助出合いまでは、さほど困難な道ではないので、懐中電灯でも充分いけると思う。

今日の日程

「ロッジくるよん」4:30 - 黒部ダム 5:00 - ダム直下 5:30 - 蔵之助谷出合い 6:15 - 別山谷出合い 8:00 - 白竜峡 8:30 - 十字峡 9:45 - 仙人ダム 11:45 - 阿曾原温泉 12:30 - 折尾谷 13:15 - 志合谷 14:45 - 樺平字上部 15:40 - 樺平 16:00 - 宇奈月 18:00

黒部ダムから蔵之助谷の出合いまでは、ほとんど難所はなく日の出前でも行動できます。懐中電灯だけでも大丈夫です。黒部別山谷出合いまでは、難所が多少あります。

・・・予想以上に残雪が残っていて、紅葉もまだまだ見ごろというところもたくさんありました。



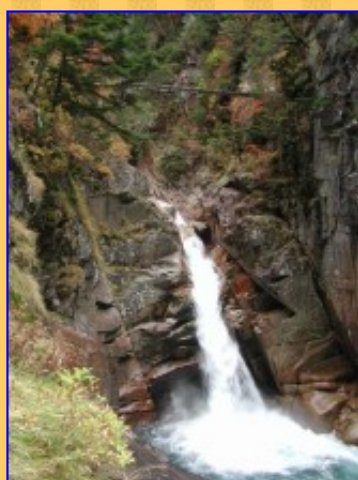
後立山連峰の山々から流れ出る沢から、たくさんの滝が見られる。特に新越沢の滝は眺めがよい。・・・



ようやく溶けて通れるようになったスノブリッチのトンネル。  
「下の廊下」は短いけど、これからが本格的なシーズンだ。



## 感動の十字峡



・・・ついに、十字峡に着いた。

なかなか、絵にはなりにくい十字峡の写真だが、まだ紅葉が残っていたので、彩りを添えることができた。

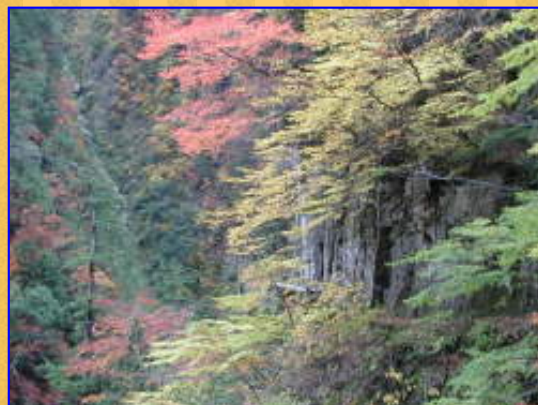
剣沢から大量の水が合流する、ここからは一気に黒部川の流れが変わる。・・・

右の写真は、剣沢からの滝・・・上には橋がかかっている。

別山谷の出会いからは十字峡までの途中、ちょっと見上げると岩と紅葉のコントラストのとれた沢があちこちに見られる。水平道からには、右の写真のように今から紅葉最盛期というところも見られる。



峡谷の紅葉は、撮影したらきりが無い。どの写真を出したらよいか迷ってしまいます。ここでは、代表的な色彩のものと、緑とのバランスのよいものをアップしてみた。



十字峡からは、次から次へと登山者に行き逢う。昨日は、阿曾原温泉が大賑わいだったようだ。水平道を一度下って、吊り橋を渡り、仙人ダムへ着く。



仙人ダムでは、関西電力の樺平から黒部ダムまでのトロッキ電車の線路と交差する唯一の場所である。ここでは、ダムの通路を利用することになる。高熱隋道の蒸気が溢れる通路を横目にして水平道へ戻る。写真は、仙人ダムのトンネルの通路と仙人ダムの全景。



仙人ダムでは、予想していた雨がついに降ってしまった。多少重過ぎるほどの防寒具が、ようやく役に立つことになった。完全武装で、雨の中、阿曾原温泉。写真は、左に露天風呂の湯煙と右に阿曾原温泉小屋。ここからも、雨は止むことなく、樺平まで、ひたすら歩き続けた。大変、苦しい最後の行程であったが、予定通り樺平へ4時に着くことができた。

## 情報アラカルト

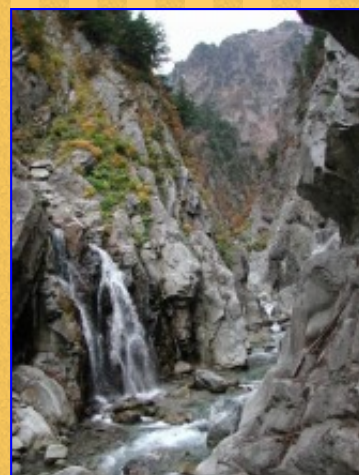
今回、初めて黒部ダムから樺平まで1日で歩くことを挑戦したが、結果的には、余裕をもって踏破できた。ポイントは、やはり黒部ダムの湖畔の「ロジくろよん」に宿泊すること。他からのアクセスだと無理。加えて、この紅葉シーズンのトロッコの最終電車が5時25分だということである。・・・なんと、樺平は、この遅い時間でも満員なのです。・・・だから最終トロッコが遅いのです。阿曾原までは、テント泊の人が、ほとんど変わらないペースで一緒でした。・・・ここまで普通に行けます。全コースの中では後半、特に阿曾原からのコース樺平までの、最後の体力だけが問題であろう。比較的アップダウンもなく、楽なコースであるが、適度な緊張が強いられ、体力の消耗も意外とあるので、食料・飲料水〔水はいたるところにあるが、スポーツドリンクなどが必要。〕は充分準備したいものだ。

## 今日の出合い・・・十字峡にて



紅葉真っ盛りの「十字峡」にて、であった方々。ここまで、ほとんど人と会うことはなかったが、急にここからたくさんの人たちと合うことになる。ほとんどが、昨日、阿曾原温泉の小屋に宿泊か、テント泊のようです。みなさんの笑顔は、ここまで来た達成感と、昨日からのよい天気で、充実感に溢れています。

## 圧巻の白竜峡



別山谷出合いから、しばらくするといいよ、今回のメインテーマ「白竜峡」だ。

このスケール・この狭さ・・・この大きな峡谷で、ここは対岸の壁が10数メートル・・・手が届きそうだ。  
今は。黒部ダムで水流調節されているため、あまりその姿は見られないが、この狭い谷を、勢いよく流れる様が  
白竜を想像させるということから、名づけられたらしい。  
この写真を撮っただけで、今回の山行は充分満足であると感じている。